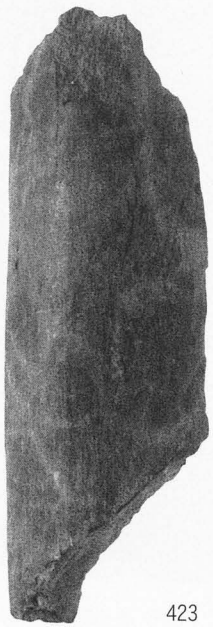
419



423

図版124　遺構に伴わない遺物（419）、N５区出土遺物（423）

425

426

図版125　N５区出土遺物

おわりに

中ノ池遺跡は、丸亀平野における弥生時代前期から中期初頭にかけての重要な遺跡であります。これまでの調査の経緯をみると、常に注目されていながらどの調査も断片的な調査にならざるを得なかった。今回もまた局部的な調査になってしまった。特に第一次の調査からすでに「環濠」の存在が指摘され、中ノ池遺跡は環濠集落であるとされてきた。

しかし今回の報告にかかる第一次発掘調査、及びその後二次、三次の調査を積み重ねていくに従って、次々と溝が検出され、ますます環濠の実態がつかみにくくなってきた。

先にも触れたように、本報告は第一次調査の資料編となるもので、引き続き二次、三次の報告の中で問題点を絞りこんで行きたいと考えています。

また中ノ池遺跡は、人と自然を考える上で貴重な資料を提供してくれます。讃岐平野で稲作農耕を始めた人類が、いかに水を管理してきたか、至る所に掘り巡らされた水路を通じて、人々がいかに農耕基盤造りに取り組んできたかを知ることができます。

このようなことを念頭に今後とも資料の整理に取り組む覚悟であります、関係各位のご支援をお願いいたします。

報告書抄録

ふりがな	なかのいけいせき
書名	中ノ池遺跡Ⅰ
副書名	
巻次	1次
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	松本豊凰
編集機関	松本考古学研究所
所在地	〒769－2401　香川県善通寺市金蔵寺町788－203　TEL0877(62)2120
発行機関	丸亀市・松本考古学研究所
発行年月日	西暦1998年12月

総頁数	目次等	本文	観察表	図版	写真枚数	挿図枚数	写真枚数
189頁	9頁	111頁	9頁	69頁	127枚	97枚	なし

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
中ノ池（なかのいけ）	香川県丸亀市金倉町中ノ池（かがわけんまるがめしかなくらちょうなかのいけ）	37202	なし	34° 15′ 74″	133° 47′ 1″	19970512 ～ 19970825	1,188.5	丸亀市総合運動公園整備工事に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中ノ池	環濠集落	弥生前期	環濠・柱穴	弥生土器・石器・鍬　等	なし

丸亀市総合運動公園整備工事に伴う
埋蔵文化財（中ノ池遺跡）発掘調査報告（Ⅰ）

中ノ池遺跡

1998年12月25日発行
編　集　松本考古学研究所
〒765－0031
善通寺市金蔵寺町788メゾンドオーズ203
ＴＥＬ　0877－62－2120
発　行　丸　亀　市
松本考古学研究所
印　刷　美　巧　社